

# 「第三回 まちづくりびと全員集合！」

開催レポート



平成25年10月6日（日）横浜市市民活動支援センターにて、「第三回まちづくりびと 全員集合！」が開催されました。まず、「平成25年度第2次コンテスト対象提案活動懇談会」では、1次コンテスト通過後の各グループの活動の様子が共有され、それに対して審査員や過去にまち普請で整備したグループの方々からアドバイスやコメントをいただきました。続いて「平成24年度整備等成果報告会」では、昨年度に整備を終えたグループから整備での苦労話や達成感、地域の盛り上がりや活用の状況など、経験者だから語れるリアルな声を聴くことができました。

そして、午後は参加者全員でワールドカフェ風の意見交換を行いました。「担い手発掘&育成」、「情報発信&広報」、「モノ・カネ・ノウハウ」、「団体相互のネットワークづくり」の4つのテーマに分かれ、各テーブルで盛り上がった議論の後、会場全体で意見交換を行いました。

## こんな意見がありました

家で固まっているお父さんたちの特技を褒めて、地域で力を発揮してもらおう



まちづくりのノウハウを集約して共有できるネットワークが必要

中心メンバーが楽しそうに活動していくと、自然と周りの人も集まるようになる



年が明けて平成26年2月2日（日）は、いよいよ2次コンテストとなります。今回のイベントで得られた情報を参考にしながら、提案内容がどれほどブラッシュアップされた内容となっているのかとても楽しみです。

## まちづくりについての情報を募集しています。

まちづくりに関するイベントや参加者募集、地域で行っているまちづくりの取り組みなどの情報を下記までお知らせください。メールマガジン「ヨコハマ人・まち」で広報のお手伝いをします。

### ＜情報提供のあて先＞

横浜市 都市整備局 地域まちづくり課  
Email: tb-machizukuri@city.yokohama.jp

「ヨコハマ人・まち」のメールマガジンは地域まちづくりに関心のある方々への転送、お誘い大歓迎です。メールマガジンの配信申し込み・停止は、[ヨコハマ人・まち](#)

## ヨコハマ市民まち普請事業とは…

「私たちのまちを 私たちでつくる  
きっとまちが好きになる」

地域住民の思いを形にすることでコミュニティの広がりをつくることを目的として、市民提案によるハード整備を支援しています。1年を通して行われる、2回の公開コンテストを通過した提案に対して、翌年度上限500万円の整備助成金を交付しています。参加団体が相互支援できる仕組みづくりにも取り組んでいます。

詳しい情報は、横浜市のホームページでご覧いただけます。

事前相談も随時受付中!

# ヨコハマ人・まち

～まちへ人がまちをつくる～

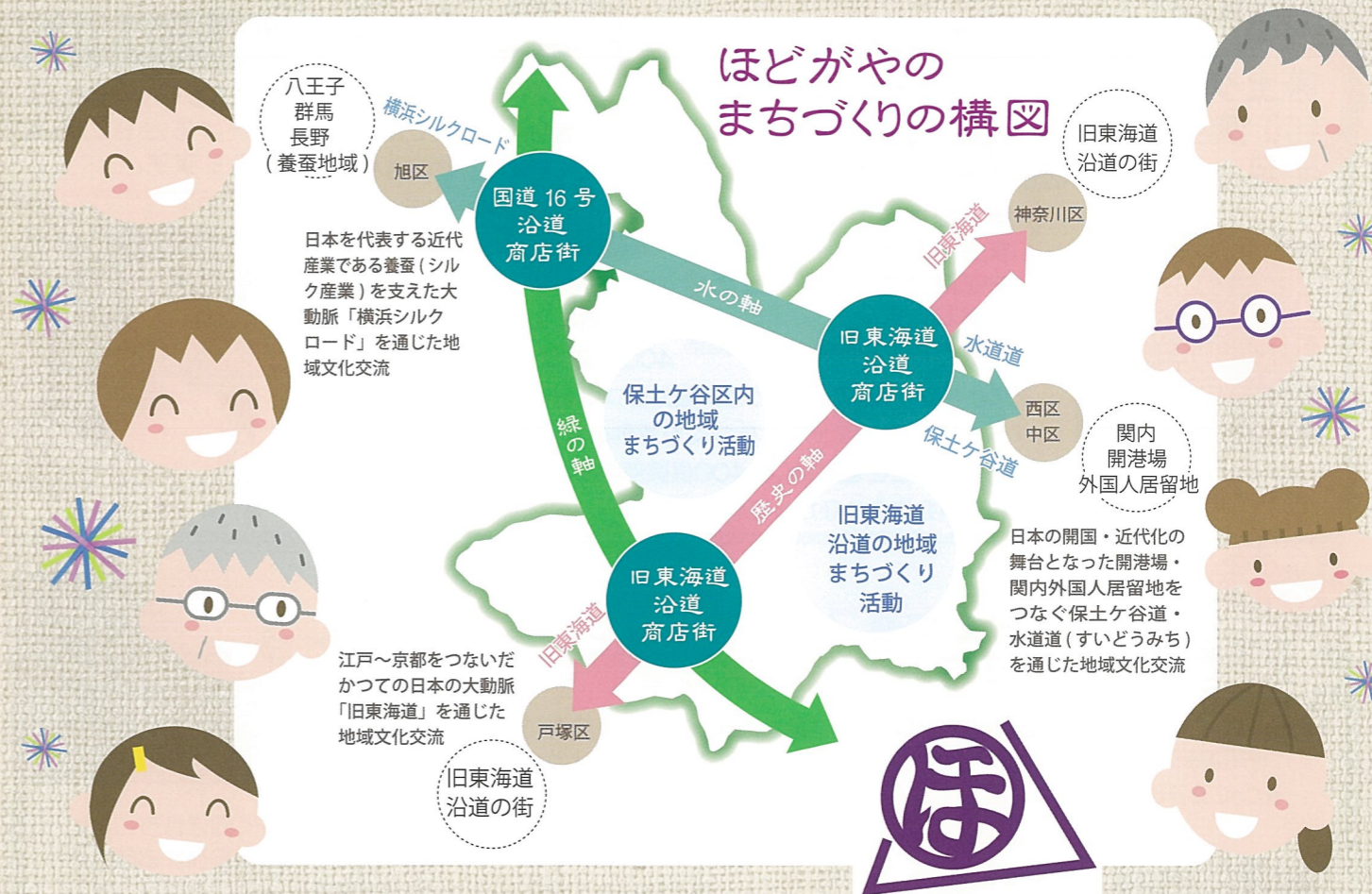
vol. 43

発行: 横浜市 都市整備局 地域まちづくり課  
TEL 045-671-2696 FAX 045-663-8641 Email: tb-machizukuri@city.yokohama.jp  
取材・編集: NPO法人 アクションポート横浜  
TEL/FAX 045-662-4395 Email: info@actionport-yokohama.org

1 P “続ける”から“広がる”保土ヶ谷の「まちづくり」と「ひとづくり」  
2～3 P 「続ける」ネットワークづくりから生まれた「ほどがや人・まち・文化振興会」のまちづくりの流れ  
4 P ヨコハマ市民まち普請事業「第三回 まちづくりびと全員集合!」開催レポート

## “続ける”から“広がる”

# 保土ヶ谷の「まちづくり」と「ひとづくり」

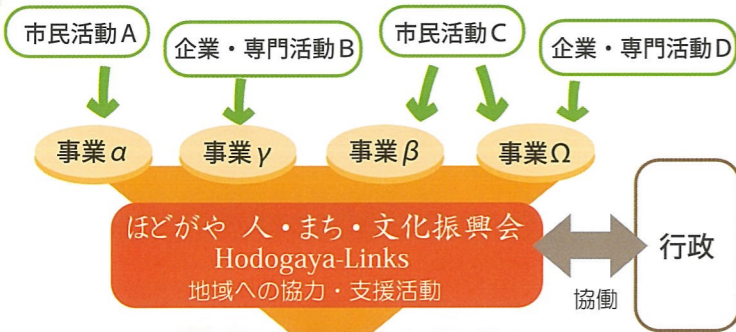


今回は、保土ヶ谷の魅力発信・創出を推進する「ほどがや人・まち・文化振興会」（以下、文化振興会）の取り組みを紹介します。平成24年度に設立された文化振興会は市民活動団体、企業、商店街、個人などの多様な人が関わり、歴史・子育て・環境をテーマに幅広い活動を行っています。これだけいろんな人がまちづくり活動へと関わるきっかけはなんだったのか。今回は新たな魅力を創造する人や団体に焦点を当て、まちづくり活動の転機となったターニングポイントや、メンバーの思いをご紹介します。



「続ける」ネットワークづくりから生まれた

「ほどがや 人・まち・文化振興会」のまちづくりの流れ



事業概要

「ほどがや 人・まち・文化振興会」は、保土ケ谷のまちづくりを担う、市民活動団体、企業、個人が集まり、平成24年4月に設立されました。現在、旧東海道等の歴史を活かした「歴史まちかど賑わい部会」、子ども・子育て世代・高齢者間の交流を生み出す「多世代交流部会」、地産地消を推進する「朝市街道部会」の三つの事業が進行中です。

羽根代表



保土ケ谷に数多くある資源を活かして保土ケ谷ならではの魅力をつくっていきたく考えています。この活動によって“住み続けたいまち保土ケ谷”を実現できるよう、その一翼を担えればと思っています。

新しいまちづくりの連携システム  
～誰もが自由にリンクして新しいまちづくり！～

その1

保土ケ谷宿400倶楽部発足



保土ケ谷西口商店街 会長 柴田さん

「続ける」まちづくりは昭和62年から始まった

活動のきっかけは？

商店街を活性化しようとまちを見渡し、もっとまちを魅力的にしたいと思いました。

文化振興会の活動を語る上で欠かせないのは、地元でお店を営む方々が中心となって昭和62年に立ち上げた、東海道宿駅制度400周年に向けてまちの歴史からまちづくりを考える「保土ケ谷宿400倶楽部」の活動です。400倶楽部を中心に、宿場まつりやまちかど博物館など、保土ケ谷の魅力をつくる実践が積み重なり、地域の「人」が主体となったまちづくり活動の基盤ができあがり、「続ける」ことを意識した400倶楽部のまちづくりの実践が、現在の文化振興会にもつながっています。

まちづくりのポイントは？

まちづくりは速さより長さ。続けるからこそ意義があります。



ほどがや 人・まち・文化振興会 副代表 近藤さん

その2

まち普請コンテスト参加

「保土ケ谷ファン」になったきっかけ  
ヨコハマ市民まち普請事業

400倶楽部を中心とした地域のメンバーは、平成17年に「ヨコハマ市民まち普請事業（詳しくは裏面へ!）」に「保土ケ谷に松並木と一里塚をつくるプロジェクト」を提案し、選考されました。



「まち普請がきっかけで、保土ケ谷により深く向き合うことになったんです」と、現在、文化振興会の事務局を担当する兼弘さん。保土ケ谷区に在住しつつ、区内で設計・まちづくりコンサルタントの仕事をしていた兼弘さんは、松並木プロジェクトを企画したメンバーの一人。この企画に参加することで地元のまちづくり活動の当事者となります。「それまでは仕事として地域のまちづくりに関わっていましたが、保土ケ谷の歴史や個性が失われていくという危機感を感じ、仕事を越えて地域のため、自分の喜びのためにもやってみようと思えたのです。」

大事なことは、まちを好きになること！好きになると、住み続けたいくなります。そして、もっともっとまちを良くしたいと思うようになります。

このように、活動をきっかけにして、兼弘さんのような新たな地域住民を引き込んでいく点も、保土ケ谷の「続ける」まちづくりの特徴の一つです。



ほどがや 人・まち・文化振興会 事務局 兼弘さん

その3

まちづくり研修会実施

人が広がりつながった  
研修会から文化振興会へ

文化振興会が多彩な組織や個人を巻き込んで発足した下地としては、400倶楽部の活動の他にも、平成18年度に区民と保土ケ谷区の協力で策定された「保土ケ谷区歴史まちなみ基本構想」があり、その構想を推進していくために、「保土ケ谷区旧東海道地域まちづくり連絡会議（仮称）」を組織するという目標が設定されました。

その目標の実現に向けて、平成22年に行われた、「保土ケ谷の地域まちづくり・商店街活性化研修会」では、「地域で活動する組織や個人にできるだけ声をかけよう！」と数名のメンバーが中心になって、後の文化振興会の一員となる多種多様な人に参加を呼びかけました。

この研修会は、地域の人のまちづくりへの思いを発掘し、「みんなでできること」を考える機会となりました。しかし、そこから生まれた実践活動は、地域の人に思いが伝わらず企画が頓挫したりと、試行錯誤の連続でした。それでも、だからこそより一層自分たちの活動が社会的にもニーズがあることを地域の人へ伝えていくことの重要性も認識しました。この思いが現在の文化振興会の活動の柱である三つの部会の誕生のきっかけとなっています。

研修会参加者の声

それまでは、自分が関わっている子育て活動とまちづくり活動とは、「少し遠い存在」でしたが、研修会がきっかけとなって、まちの中で実践できることが見つかりました。



現在

保土ケ谷のまちをつなぐ「ほどほど」ネットワークへ

「ほどがや人・まち・文化振興会」発足

文化振興会は「Hodogaya-Links」と掲げるように、今では33団体約100人が所属し、誰もが自由にリンク（つながり）しながらまちづくりに参加できるゆるやかなネットワークとなっています。地域ネットワークで大事なことは「ほどほどに無理をせず続けること」。文化振興会の取り組みは、400倶楽部から積み重ねてきた思いを活かして、日々の活動を「ほどほどに」「がやがや」と続けながらたくさんの地域の人を巻き込み、「続ける」保土ケ谷らしいまちづくりスタイルとなっています。

そして、今年は新たに文化振興会から、横浜市に対して「保土ケ谷の人・まち・文化を生かした旧東海道のにぎわいづくり事業」と題した市民協働事業の提案をし、横浜市初の事業提案に基づく協働契約を平成25年5月17日に締結しました。現在は「宿場朝市ごうどいち」をはじめ、今昔写真展の開催や「ほどがや人・まち・かわら版」の発行、「まちかど博物館スタンプラリー」などに取り組んでいます。誰でも参加できるイベントもありますので、ほどがやのまちづくりを体感しに足を運んでみてはいかがでしょうか。

※今回紹介している事業について、[保土ケ谷 協働事業](#) [検索](#) [クリック](#) 詳しい情報はこちらから！



来て！見て！楽しんで！  
文化振興会の活動

(イベント情報)

- 宿場朝市 “ごうどいち”  
【日時】毎月第1日曜日10:00～12:00（売り切れ次第終了）  
【場所】保土ケ谷駅西口商店街内 北川製粉中庭
- 朝市街道～新鮮野菜の直売～  
【日時】毎週火曜日10:00～売り切れ次第終了  
【場所】旧東海道沿い等の沿道店舗（10店舗）
- すぺーすほどほどin和田町（こそだてママの接骨院）  
【日時】月曜日～金曜日  
【場所】保土ケ谷区星川3-7-22 田中ビル1F

※詳しい情報はこちら！ [ほどがや 人・まち](#) [検索](#) [クリック](#)



ごうどいちの様子

